



特定非営利活動法人 日本オゾン協会
第26回年次研究講演会のご案内
 主催 特定非営利活動法人日本オゾン協会

開催日時 2017年6月15日(木)、16日(金)

- 年次研究講演会 (301教室+302教室) 6月15日(木) 9:55~15:40
- 年次研究講演会 (301教室+302教室) 6月16日(金) 10:00~16:10
- 意見交換会 (会場選定中) 6月15日(木) 17:00~19:00

会場 東京都水道局 研修・開発センター (〒158-0085 東京都世田谷区玉川田園調布1-19-1)
 アクセス: ◆東京急行電鉄 大井町線「九品仏」駅(急行は止まりません)より徒歩8分
 (注: 九品仏駅をご利用願います)



参加費 下記参加費払込期限までに**ご入金**いただけない場合、割引料金は適用になりません。

参加費払込期限	会員 (IOA 会員含む) および 公共機関・教育機関	非会員	学生 (要学生証 [※] -添付)
2017年5月7日(日)まで	17,000円	21,000円	2,000円
2017年5月8日(月)以降	19,000円	24,000円	3,000円

別途: 意見交換会参加費 6,000円/1名

募集人数 講演会 150名 意見交換会 80名

申込方法 第21回より、参加申込先は日本旅行へ変更となりました。参加申込専用ウェブサイトがありますのでそちらからお申込下さい。URL: https://v3.apollon.nta.co.jp/26th_ozone-jr/
 日本旅行専用サイトへは、協会ウェブサイトからもリンクしております。(http://www.j-ozone.org/) または本案内書最終頁の参加申込書を日本旅行へご提出下さい。

参加申込期限 **2017年6月4日(日) 必着**

主催・問合せ先 特定非営利活動法人日本オゾン協会 事務局 (担当: 西島、高原、廣辻)
 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町10-10 日本橋インテリジェントフラッツ301
 TEL: 03(6661)1622、FAX: 03(6661)1623
 E-mail joa@mwd.biglobe.ne.jp URL <http://www.j-ozone.org/>

6月15日(木)

※プログラムは予告なく変更となる場合があります。

9:55 - 10:00 開会挨拶		日本オゾン協会 会長 眞柄泰基	
10:00 - 11:00 I. オゾン発生装置・反応器 4編		座長：田口正樹、高原博文	
1	オゾン発生シミュレーション(1) マイクロ放電と温度上昇	(株)東芝 東芝ITコントロールシステム(株)	○村田隆昭、久保貴恵 沖田裕二
2	タンデム接続したオゾン発生器の特性	メタウォーター(株)	○田口正樹、加藤康弘
3	新誘電体ガラスを備えた数十グラムのオゾン発生システムの開発	鈴鹿工業高等専門学校材料工学 三重工塾(株) 鈴鹿医療科学大学	○宗内篤夫 村上道哉 中山浩伸、平井一行
4	変圧器冷却循環水系へのオゾンの適用ーオゾンの溶解・消費特性ー	多田電機(株) 東芝プラントシステム(株) 大阪府立大学大学院	○山内四郎、福井秀樹、長尾仁、 中峠美華、川越康夫 橋本偉生、橋口功 安田昌弘
11:00 - 11:30 II. 計測技術 2編		座長：水野忠雄	
5	ハイパースペクトル技術を用いた水中藻類検出技術	(株)東芝	○松川梢
6	前処理装置一体型オゾン測定器の開発	荏原実業(株)	○金田尚浩
11:30 - 11:55 III. ポスター発表 5編		座長：水野忠雄	
P-1	オゾンを用いた原子炉廃止措置時の化学除染法(1) 除染への適用条件検討	(株)東芝	○矢板由美、根岸孝次、岡村雅人、 金丸太郎、青井洋美
P-2	オゾンを用いた原子炉廃止措置時の化学除染法(2) オゾン濃度評価	(株)東芝	○山本泰、吉井敏浩、矢板由美、 根岸孝次、金丸太郎、青井洋美
P-3	オゾン処理による腸管系ウイルスの除去およびF特異RNAファージの遺伝子型別の不活化	京都大学大学院工学研究科 メタウォーター(株)	○林東範、中田典秀、田中宏明 加藤康弘
P-4	顆粒オゾンの紹介	ECOWORLD Co., Ltd.	○OH Suk Jung
P-5	超高濃度・大流量小型オゾンガスモニタの開発	荏原実業(株)	○野口恭
11:55 ~ 13:00 昼休み			
13:00 - 14:15 IV. 促進酸化処理 5編		座長：越後信哉	
7	オゾンと酸化タングステン化合物の促進酸化による脱臭	オーニット(株) 佐賀大学(名誉教授)	○堀貴晃、仁戸田昌典、中西優、 平垣圭介 山部長兵衛
8	オゾンー促進酸化処理に及ぼす凝集pHの影響	メタウォーター(株)	○横山史泰、青木未知子、加藤康弘
9	オゾン/過酸化水素処理による彦酸および酢酸の分解特性	大阪産業大学 京都大学大学院	○陳允麒、濱崎竜英、吳婷、津野洋 水野忠雄
10	オゾン/過酸化水素処理による下水生物学的処理水中有機物の除去特性	大阪産業大学 京都大学大学院	○濱崎竜英、吳婷、陳允麒、津野洋 水野忠雄
11	ばね式ろ過ー促進酸化処理による流入下水中有機物の除去性能評価	京都大学大学院	○米津直紀、水野忠雄、西村文武
14:15 - 14:20 休憩			
14:20 - 15:05 特別講演： 民間オゾン応用市場の発展と展望		日本オゾン協会顧問 理学博士 杉光英俊	司会：高原博文
15:15 - 15:40 第24回表彰式(年次研究講演会と同会場)			
15:50 - 16:10 日本オゾン協会 第16回総会(協会会員のみ、303教室)			
17:00 - 19:00 意見交換会(会場選定中)			

6月16日(金)

※プログラムは予告なく変更となる場合があります。

10:00 - 11:00 V. 浄水(1) 4編			座長：西嶋渉
12	オゾン環境におけるステンレス鋼の耐食性評価：第4報	新日鐵住金ステンレス(株)	○吉見敏彦、石丸詠一朗、阿部雅之、西村敏和
13	上下迂流式3段オゾン処理槽内のオゾンCt値推定手法の開発	京都大学大学院	○水野忠雄、美船健
14	上下迂流式3段オゾン処理槽におけるヒドロキシルラジカルCt値の推定	阪神水道企業団 京都大学大学院	○打上恭平、中村英靖、大谷真巳 水野忠雄
15	淀川原水を用いたオゾン・セラミック膜ろ過技術の研究	メタウォーター(株)	○村田直樹、山口太秀、青木伸浩
11:00 - 11:45 VI. 浄水(2) 3編			座長：堤行彦
16	促進酸化処理における霞ヶ浦原水中の溶解性有機物の除去特性	茨城県企業局 茨城県企業公社	○助川英志、益子幸一、柴雅彦、 中嶋淳、仲田隆 大内信人
17	阪神水道企業団猪名川浄水場Ⅱ系オゾン処理槽の運転状況報告	京都大学大学院 阪神水道企業団	○水野忠雄 大谷真巳、布川裕士
18	金町浄水場高度浄水処理におけるオゾン注入強化の効果	東京都水道局	○木村慎一、和田正豊、米田優宇、 青木秀幸
11:45 ~ 13:15 昼休み			
13:15 - 14:00 VII. 事例紹介 3編			座長：小坂浩司
19	溶存オゾン濃度調整方法の改善による処理効率向上の取組みについて	東京水道サービス(株)	○松浦聡一郎、内田栄一、後藤一男
20	動物園・水族館におけるオゾン適用	住友精密工業(株)	○佐藤一行、寺島裕二、河野孝、 吉田久次、米谷純
21	米国における下水分野のオゾン利用—飲用再利用への応用	Pacific Advanced Civil Engineering, Inc.	○池端慶祐、趙元媛、 Harshad V. KULKARNI
14:00 - 15:00 VIII. 下水・汚泥処理 4編			座長：西村文武
22	オゾン水洗浄式膜分離バイオリアクタの開発	三菱電機(株)	○今村英二、安永望
23	福岡市における下水再生水処理へのオゾンの利用について	福岡市道路下水道局中部水処理センター	○森川英俊、原田賢治、水落敏朗、 福岡睦美
24	汚泥減容化におけるオゾンウルトラファインバブルの効率的な活用	広島大学環境安全センター 広島大学工学部 広島大学大学院工学研究科 西日本高速道路(株) 三菱電機(株)	○橋本くるみ、西嶋渉 圓島徹 久保田成美 元重浩 ○黒木洋志、平敷勇
25	余剰汚泥のオゾンによる高効率可溶化技術		
15:00 - 15:05 休憩			
15:05 - 16:05 IX. 消毒・その他 4編			座長：大瀧雅寛
26	イミダゾリウム系イオン液体とオゾンとの反応機構	岡山大学大学院環境生命科学研究科 ミシガン工科大学 京都大学大学院工学研究科 愛媛大学大学院連合農学研究科 高知大学教育研究部自然科学系農学部門 荏原実業(株)	○永禮英明 南方大輔 水野忠雄 野村洋平 藤原拓 ○松本豊
27	医療機器 オゾン室内消毒装置MAC-1000について		
28	カルキ臭低減型浄水処理プロセスの開発とその微生物感染リスク評価	京都大学 大阪大学	○越後信哉、伊藤禎彦、石原哲志、 久本祐資 周靚
29	プロテオーム解析を用いた酸化処理によるウイルスタンパク質損傷の評価	京都大学	○藏岡凌平、浅田安廣、榊原崇、 越後信哉、伊藤禎彦
16:05 - 16:10 閉会挨拶			日本オゾン協会 副会長・学術公益部会長 大瀧雅寛